

INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ

5月30日は、5月30日の日



資源として分別・排出された紙は、紙の種類によって新聞紙、週刊誌、ダンボール箱などに生まれ変わります。古紙から紙を再生すれば、木材から紙を作る場合に比べて約3分の1のエネルギー消費量ですみます。また、家庭で読み終わった新聞紙1年分で、直径14cm、高さ8mの立木15本が伐採されずにすむといわれています。



②回収された古紙は紙問屋で選別され、製紙工場に運ばれます



④異物を除去した後、「フローター」で繊維からインキを取り除きます



⑥再生された紙類は、ノートやトイレットペーパー、新聞紙などに生まれ変わります



①再生できる紙類は、分別して集積所に出します



③巨大なミキサー状の機械(パルパー)に水と共に入れられ、繊維に戻されます



⑤漂白、滅菌し、「抄紙機」に入れると、再生紙ができます

市民・事業者・行政が協力してごみの減量化について考え、実践している「狭山市のごみ減量化推進会議」では、5月30日の「ごみゼロの日」を中心に約2週間、ごみの減量・資源リサイクル促進のためにごみゼロキャンペーンを展開します。キャンペーンのテーマは、「再生品 みんなで使ってリサイクルの輪」です。再生商品を購入することでリサイクルの輪をいつまでも途切れないものにしていく、それをメッセージとして呼びかけていきます。関連イベントも同時に開催しますので、どうぞご参加ください。また今回は、皆さんが資源ごみとして出している古紙がどのような過程を経て生まれ変わるのか、そのリサイクルの現場を紹介します。

ごみゼロキャンペーンを開催します

関連イベント

駅頭キャンペーン

雑誌古紙から作った再生トイレットペーパーを配り、ごみの減量・リサイクル促進を呼びかけます。

日時5月24日(月)、18時30分から
会場狭山市駅・入曽駅・新狭山駅・
稲荷山公園駅

パネル展示会

「リサイクルのゆくえを知る」を
テーマに紙、ガラスびん、アルミ、

スチール缶など、私たちが分別して出した資源がその後どのようにリサイクルされるのか再生工程を紹介します。

日時5月24日(月)～6月3日(木)
会場市役所1階エントランスホール

リサイクルマーケット・さやま
家庭で不要になった雑貨、衣類、
おもちゃなどを持ち寄り、低価格で
譲って有効利用を図ります。

日時5月30日(日)、9時～13時
会場「トイレット」駐車場(富士見2丁目)

問い合わせごみ減量・資源リサイクル推進チームへ内線3631